



発行所 日本看護連盟  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2  
Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627  
発行人 大島敏子

# No. 395

2019年12月18日号



## 中国・四国ブロック看護管理者・ 看護教育者政策セミナー 開催

11月30日、12月1日の両日にわたり「令和元年度 中国・四国ブロック看護管理者・看護教育者政策セミナー」が、岡山ロイヤルホテル（岡山市）において開催されました。

### <1日目>

開会に先立ち、中国・四国ブロック協議会の吉田昭枝会長（愛媛県看護連盟会長）、つづいて岡山県看護連盟の江尻美恵子会長が開会のあいさつをしました。また、日本看護連盟の西城嘉子副会長が来賓としてあいさつしました。

### <加藤勝信厚生労働大臣の講演>

最初の講演は、加藤勝信厚生労働大臣による「少子高齢社会への挑戦～医療・介護の在り方～」でした。

加藤大臣は、まず日本社会の人口構造の変化（少子高齢化のますますの進展）に伴う社会保障の課題を示しました。人口は減少するが高齢者の比率はひきつづき増えていき、これに伴い社会保障費も増えてきます。一方で、社会保障費の担い手である生産年齢人口は減少していきます。2040年ごろになると高齢者人口の伸びも落ち着きますが、現役世代の人口も急減します。この課題に対応して、社会保障制度の持続可能性を確保するには、さまざまな改革が必要になります。これまでの高齢者に重点を置いていた社会保障制度を全世代型に変え、現役世代が抱える困難・リスクも高齢者が抱える困難・リスクも、国民全員で支えていくことを目指す、という改革です。

また、医療提供体制の改革も必要です。加藤大臣は、改革の取り組みとして、地域医療構想の実現、医師の働き方改革、医師の偏在対策の3点を掲げました。さらに、看護職の確保に向けた施策として、看護基礎教育の見直し・充実、復職支援、看護職の定着促進の3つの柱を示しました。加藤大臣は、2020年5月12日のナイ

チンゲール生誕 200 周年に向けて展開される Nursing Now キャンペーンにも触れました。最後に、介護保険制度の見直しについて触れ、講演を終えました。

### <吉川久美子日本看護協会常任理事の講演>

加藤大臣の講演のあと、日本看護協会の吉川久美子常任理事が「日本看護協会の政策と実現に向けた取り組み」について講演しました。

吉川理事は、まず日本看護協会は、2015 年に今後の人口構造、患者像、医療提供体制の変化を見据え、2025 年に向けた「看護の将来ビジョン いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を公表したこと、そして看護職に求められる役割について説明しました。

つぎに、吉川理事は 2019 年度の 4 つの重点政策＝「Ⅰ. 看護基礎教育制度改革の推進」「Ⅱ. 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」「Ⅲ. 看護職の働き方改革の推進」「Ⅳ. 看護職の役割拡大の推進と人材育成」について解説しました。そして、この重点政策に基づいて、①看護師基礎教育の 4 年制化の実現、②訪問看護従事者増加のための方策の策定と体制整備、③地域包括ケアシステムを推進するための看護職の育成、④ナース・プラクティショナー制度に関する検討の場の設置等の代表的な事業について紹介しました。また、2020 年度は診療報酬改定の年にあたり、厚生労働省保険局長あてに先日「2020 年度診療報酬改定に関する要望書（その 2）」として、看護職員の確保が可能となる入院基本料の引き上げ、看護補助加算の引き上げ、重症度、医療・看護必要度の測定方法の変更と記録の簡素化の要望を提出したと述べました。

最後に、Nursing now「看護の力で健康な社会を！」のキャンペーンについて説明しました。

### <看護管理者・看護教育者政策セミナー 2 日目>

2 日目の午前中は、最初に政策大学院大学の島崎謙治教授による講演「医療政策の動向と課題」が行われました。人口構造の変化は、日本の医療体制に大きなインパクトを与えます。目下は財政問題にスポットが当たっていますが、それよりも人的資源の問題が深刻と島崎教授は指摘します。医療制度改革のためには、様々な施策が必要ですが、克服すべき課題は山積みです。

つづいて、あべ俊子衆議院議員が「看護政策の動向」と題して講演しました。あべ議員は「2020 年度診療報酬改定方針」「看護人材確保における課題（有料職業紹介の問題）」「看護必要度」「アルコール関連問題に関する診療報酬算定」「産後ケア法案」を紹介し、ご自身の取り組みについて説明しました。

午後は、ワークショップが行われました。最初に日本看護連盟の大島敏子会長が基調講演として「看護政策実現に向けた管理者・教育者の役割」について話しました。

この後「看護政策実現に向けて各自の役割を明らかにする！！」をテーマにグループワークが行われ、2 日にわたるセミナーを終了しました。